

平成 25 年度

第 11 期

遊佐町 少年町長・議員 公選事業

活動報告書



平成 26 年 3 月 遊佐町

第 11 期少年議会 活動報告書

目次

活動経過報告	…	1
実施要項	…	3
立候補者募集チラシ	…	6
少年町長・少年議会広報	…	7
有権者（町内在住・在学中高生）向けアンケート	…	9
施政方針及び独自政策	…	10
第2回少年議会 - 一般質問・政策提言	…	11
第3回少年議会 - 活動報告	…	19
主な活動内容	…	28
プロジェクト名簿	…	30

第 11 期遊佐町少年町長・少年議会 活動経過報告

期 日	概 要	場所等	備 考
5月10日 ～17日	生徒説明会	各学校	各学校で少年議会事業の説明 立候補者募集チラシ・立候補届の配布
5月22日(水)	少年町長・少年議員の 立候補者募集開始	広報ゆざ 6月1日号	広報にチラシ折込（全戸）
5月22日 ～29日	立候補者受付期間		立候補者募集開始、 立候補の抱負を提出
6月17日 ～27日	少年議会アンケート 説明・配布	各学校	各学校でアンケートについて説明 配布し実施
6月23日(日)	オリエンテーリング	生涯学習センター 町内	自己紹介・オリエンテーション 所信表明について、町内視察
7月3日(水)	第1回少年議会 当選証書交付式	議事所	所信表明
7月22日(月)	第1回全員協議会	生涯学習センター (第1研修室)	町民花火大会・海岸清掃活動の対応に ついて、アンケート集約
7月27日(土)	町民花火大会 海岸美化啓発活動	西浜海水浴場	啓発ティッシュ・エチケット袋の配布 東日本大震災被災者支援募金活動
8月9日(金)	第2回全員協議会	生涯学習センター (小研修室)	町民盆踊り大会への参加内容について
8月14日(水)	第44回 町民盆踊り大会	大会会場	盆踊り大会への参加
8月19日(月)	第3回全員協議会	生涯学習センター (小研修室)	第2回少年議会政策提言について
8月20日 ～9月1日	一般質問・政策提言相談 (各自)	生涯学習センター (応接室)	政策提言内容の検討・確認
9月2日(月)	第2回少年議会	議事所	施策方針・一般質問・政策提言の 発表と協議
9月7日 ～8日	第21回奥の細道 鳥海ソーデーマーチ	大会会場	エールの実施及びボランティア活動
9月16日(月)	第4回全員協議会	生涯学習センター (小研修室)	政策の実施に向けた検討 政策班分け
9月20日(金)	第5回全員協議会	生涯学習センター (視聴覚室)	政策の実施に向けた検討
9月27日(金)	第6回全員協議会	生涯学習センター (視聴覚室)	政策の実施に向けた検討 神鹿角切祭への参加について
10月13日(日)	第36回 鳥海山神鹿角切祭	大平山荘	角切イベント 抽選会司会・プレゼンター
10月13日(日)	第7回全員協議会	生涯学習センター (調理室)	少年議会特産品試作
10月18日(金)	第8回全員協議会	生涯学習センター (視聴覚室)	神鹿角切祭への参加について 政策の実施に向けた検討
10月25日(金)	第9回全員協議会	生涯学習センター (視聴覚室)	政策の実施に向けた検討
10月26日(土)	特産品試作	生涯学習センター (調理室)	少年議会特産品試作
11月8日(金)	第10回全員協議会	生涯学習センター (第1研修室)	政策の実施に向けた検討

期 日	概 要	場 所 等	備 考
11月15日(金)	第11回全員協議会	生涯学習センター (ボランティアルーム)	政策の実施に向けた検討 子育てフォーラムでの発表について
11月17日(日)	第12回遊佐町 子育てフォーラム	生涯学習センター (ホール)	事例発表：少年議会活動の紹介
11月22日(金)	第12回全員協議会	生涯学習センター (ボランティアルーム)	政策の実施に向けた検討 (世代間交流ふれあいボランティア 他)
11月30日(土)	遊佐町 フードフェスタ 2013 準備	生涯学習センター (調理室)	遊佐町フードフェスタ準備
12月1日(日)	遊佐町 フードフェスタ 2013	パレス舞鶴	「芋煮コロッケ」、「もちっと！米～カリー」の出展、アンケート調査
12月6日(金)	第13回全員協議会	生涯学習センター (視聴覚室)	政策の実施に向けた検討 (世代間交流ふれあいボランティア 他)
12月7日(土)	世代間交流ふれあい ボランティア	グループホーム燦燦	小学生～高校生とグループホーム入居者の ふれあい
12月13日(木)	第14回全員協議会	生涯学習センター (ボランティアルーム)	政策の実施に向けた検討 (クリスマス交流会 in 陸前高田 他)
12月14日、 20日、21日	クリスマス交流会 準備	生涯学習センター (調理室・応接室)	クリスマス交流会 in 陸前高田 準備
12月22日(日)	クリスマス交流会 in 陸前高田	陸前高田市 米崎小学校	芋煮のふるまい、ソーラン・ハンドベル教室を通じた陸前高田市の小学生との交流
1月10日(金)	第15回全員協議会	生涯学習センター (第1研修室)	政策の実施に向けた検討 (ゆぎミュージックフェスティバル)
1月17日(金)	第16回全員協議会	生涯学習センター (第1研修室)	第3回少年議会についての話し合い
1月18日 ～19日	「もちっと！米～カリー」 試作・町内営業	町内	「もちっと！米～カリー」の試作、 町内パン屋への営業活動
1月17日 ～21日	今期少年議会活動報告 作成(各自)	生涯学習センター (応接室)	第11期少年議会活動報告書作成
1月22日(水)	第3回少年議会	議事所	活動総括・次期少年議会へ伝えたいこと
1月24日(金)	第17回全員協議会	生涯学習センター (第1研修室)	政策の実施に向けた検討 (ゆぎミュージックフェスティバル 他)
2月6日(木)	第18回全員協議会	生涯学習センター (第1研修室)	政策の実施に向けた検討 (ゆぎミュージックフェスティバル 他)
2月14日(金)	第19回全員協議会	生涯学習センター (第1研修室)	政策の実施に向けた検討 (ゆぎミュージックフェスティバル 他)
2月21日 ～22日	ゆぎミュージック フェスティバル準備	生涯学習センター (応接室・ホール)	ゆぎミュージックフェスティバル準備 リハーサル
2月23日(日)	ゆぎミュージック フェスティバル	生涯学習センター (大会議室)	若者を活気づける音楽イベントの開催 少年議会特産品の販売
3月7日(金)	第20回全員協議会	生涯学習センター (小研修室)	政策の実施に向けた検討 (通学路アンケート集計)
3月9日(木)	遊佐元気のちから づくり成果報告会	パレス舞鶴	「もちっと！米～カリー」の政策について の発表
3月28日(金)	通学路調査要望書 提出	生涯学習センター (大会議室)	若者を活気づける音楽イベントの開催

遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項（第11期）

1. 名称 「遊佐町少年町長・少年議員公選事業」

2. タイトル 「若者の力で、遊佐の未来をつくろう」

常に、歴史は若者によって創られてきました。地域の青年たちは、いつでも地域を変革していく「力」を蓄えています。青年たちが自分たちの住むまちを自分たちの協働の「力」で変革しはじめるとき、時代が拓かれ地域の民主主義が再生します。そして、地域の中で若者たちが生活者として認識され、若者たちの居場所と役割が地域の中に見えてきます。そのことを通じて、若者が生き生きと生活していく自立した地域が再生されます。

3. スローガン

自分たちの力で、自分たちが本当に求める遊佐のまちをつくろう。

遊佐町は、私たちが生まれ育った町です。鳥海山、月光川、庄内砂丘と日本海に抱かれ、豊かな自然や歴史風土あふれる町です。

21世紀をむかえ、私たちの前には地球規模での自然環境の悪化、エネルギー、食糧、少子化・高齢化、さらに、民族問題、経済格差などの新たな問題や課題が横たわっています。改めて、これまでの社会、経済そして私たちの「生き方」「あり方」「生活の仕方」そのものの大転換が迫られています。

そして、さらに私たちを取り巻く仕組みの大きな変化として「分権社会」が到来し、自分たちの生き方を自分たちが決めていくという社会システムを構築していくことが求められています。

こうした状況をふまえて、こどもたちにおいては、勉強ができスポーツが上手であればそれでよしという時代ではなくなっているというのが現状です。その上で、人間らしく「生きる力」を育成し、開かれた個としての人格の完成に向けて、これまで以上に、こどもたちが社会とつながる活動を大切にしていくことが重要です。その過程を通して、気づき、考え、行動し、表現する。そのことによって、培われた「学力」は、一層生きて働く方向性を見出していきます。

本事業を通して、若者たちの意見や願いをもとに若者の力で遊佐町の地域づくりを行うと共に、相互教育を行おうとするものです。

4. 事業のねらい

- (1) 若者たちが、自らの代表を直接選び、政策を実現していくことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することにより社会の構成システムを学ぶ。
- (2) 中高校生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促す。
- (3) この事業に関わるすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を学ぶ、相互教育の場とする。

5. 少年町長・少年議会の対象者

対象者は、遊佐町在住の中高校生及び遊佐町に通学する高校生とする。
対象者はだれでも、少年町長及び少年議員の選挙権と被選挙権をもつ。
また、少年議会は、自らの政策立案権と少年町長の議案審議権を有する。

6. 構成員

- (1) 少年町長（1名） 対象者のうち少年町長に立候補し、全有権者の投票により信任された者
- (2) 少年議員（10名） 対象者のうち少年議員に立候補し、全有権者の投票により信任された者
- (3) 少年副町長・少年監査 少年町長・少年議員に立候補し、当選できなかった者のうちから、少年副町長（若干名）・少年監査（若干名）を委嘱できるものとする。委嘱された少年副町長・少年監査は、少年議会の構成員となる。

7. 少年町長

少年町長は、遊佐町少年町長・少年議員公選事業にかかる全ての有権者の代表であり少年議会で承認された政策の実現のため遊佐町長に対して、予算要求を行う権限をもつ。
また、遊佐町長より交付された政策予算の予算執行権をもつ。

8. 少年議会

少年議会は、少年町長が招集し議案を提案し承認を得る。少年議会は、最初の議会に議長及び議長代理を選任するとともに、少年町長の議案審議を行う。
併せて、自ら少年政策立案を少年議会の場で行うことができる。

9. 少年副町長

少年町長を補佐し、少年町長不在の場合、臨時的に政策実現における執行権限をもつ。

10. 少年監査

少年監査は、少年議会の附属機関として、予算執行に関する監査権をもち、少年町長に勧告することができる。

11. 事業期間

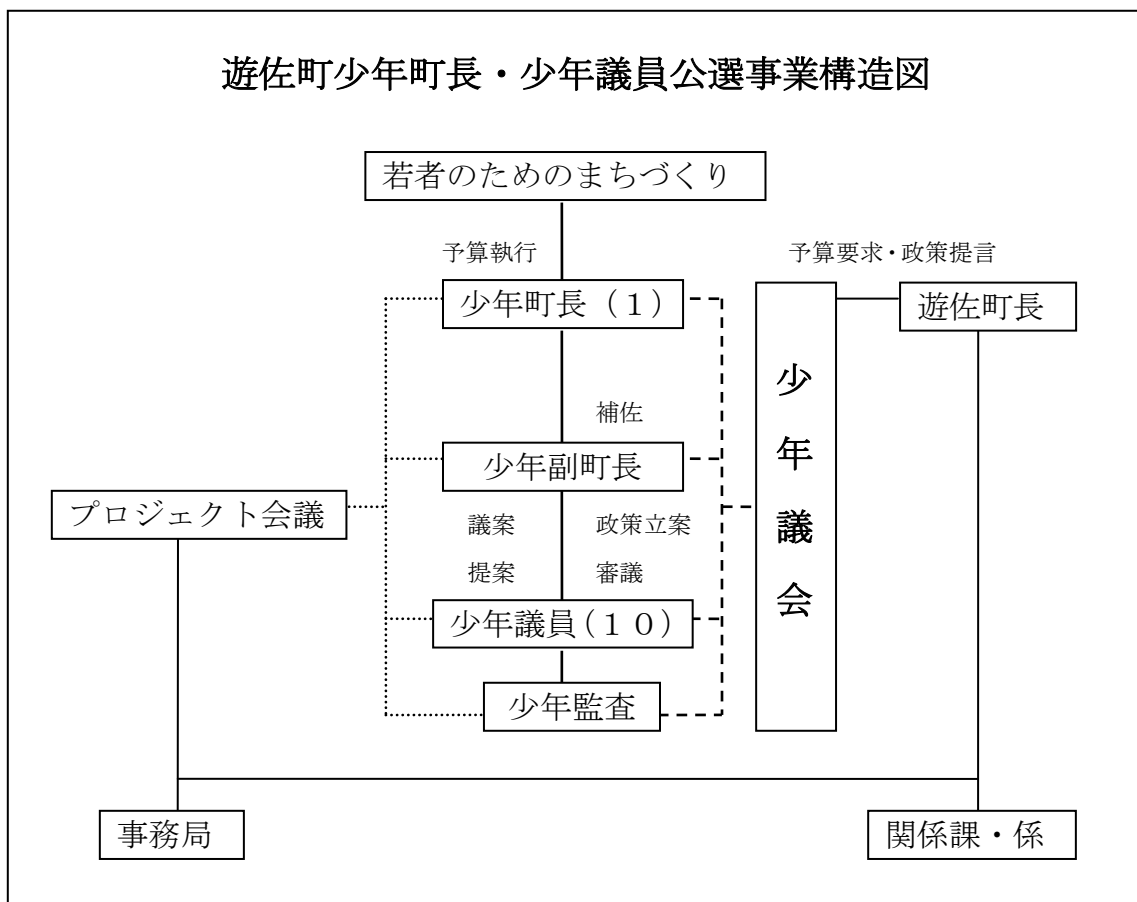
平成25年4月～12月（第11期）
ただし、少年町長・少年議会から要望があるときは延長することができる。

12. 事業スケジュール（概案）

平成25年	4月	第11期プロジェクトチームの立ち上げ（遊佐町役場内）
平成25年	5月	各高校への協力お願いと生徒への主旨説明
平成25年	5月	立候補者対策
平成25年	5月	少年町長及び少年議会議員立候補者受付・立候補者チラシ作成
平成25年	6月	全構成員による直接選挙
平成25年	6月	当選証書の交付及び事業説明
平成25年	6月	第1回少年議会
平成25年	7月～	政策討議
平成25年	8月	第2回少年議会
平成25年	8月	遊佐町長への予算要求
平成25年	9月～	予算執行（事業の実施）
平成25年	12月	第3回少年議会 末日、任期満了

13. 政策予算

全期間を通じて450,000円とする。
但し、町への提言に伴う予算は、所轄課で予算化する。



明日の遊佐町に
わたしたちは提案します

第11期

少年町長・少年議員 立候補者募集

1 「選ぼう」

遊佐町に住む中学生・高校生と遊佐町に通学する高校生から「少年町長」「少年議員」の立候補を受け付け、選挙によって「少年町長」「少年議員」を選び、「少年議会」を開催します。

立候補者受付期間 平成25年5月22日(水)～5月29日(水)

公選で選ぶ人 (1)少年町長 1人 (2)少年議員 10人

少年町長・少年議員に当選できなかった人は少年副町長・少年監査に就任いただけます。

立候補の仕方

立候補用紙で直接またはFAXによる届け出、もしくは学校の先生への提出にて受付します。

受付

遊佐町教育委員会
教育課

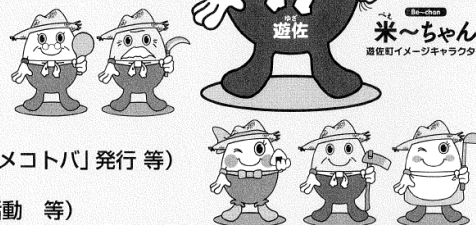
2 「討議しよう」

遊佐町の若者の代表として、議会・全員協議会を開催し遊佐町に様々な意見を届けてもらうとともに、自分たちで「中学生、高校生の政策」を議論し決めていきます。自分たちの決めた政策を、政策予算45万円を用いて実現していきます。

3 「実現しよう」

主な活動内容

- ・有権者の意見集約と町への政策提言
- ・政策予算による自分たちの政策実現のための活動
(例 B級グルメづくり、米～ちゃん絵本「米～ちゃん一家のキメコトバ」発行 等)
- ・町内各種イベントへの参加
(例 鳥海ツーデーマーチ、神鹿角切祭、海岸美化啓発・清掃活動 等)



自分たちが本当に求める遊佐のまちを、 自分たちの力でつくろう!!

少年町長・少年議員立候補届

少年町長・少年議員 に立候補します。(○をつける)

氏名
住所
TEL ()
学校名 学年

以上のとおり立候補します

立候補の抱負

問い合わせ・連絡先

遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局

遊佐町教育委員会教育課社会教育係

〒999-8301 遊佐町遊佐字鶴田52-2 遊佐町生涯学習センター内
TEL.0234-72-2236

届け出は ▶ FAX.0234-71-1222

Youth President's Election 2013 in YUZA

遊佐町 少年町長・少年議会広報

明日の遊佐町に
わたしたちは
提案します



米〜ちゃん
遊佐町イメージキャラクター

第11期少年町長・少年議員決定

遊佐町では平成25年5月22日(水)から5月29日(水)まで、第11期少年町長・少年議員立候補者受付を行い、少年町長に1名、少年議員に9名の立候補がありました。その結果、少年町長・少年議員ともに定数以内だったため、立候補者全員の当選が確定しました。今後、少年議会は遊佐町の若者の代表として活躍していきますので、みなさん応援よろしくお願ひします。

また、これからの少年議会の活動のもととなる有権者のみなさんから、遊佐町に対するご意見を受け付けます。学校にて配布される用紙に記入の上、下記事務局までお寄せください。メール、ファクシミリでも受け付けます。

みなさんのご意見が、明日の遊佐町をつくれます。多くのご意見をお待ちしています。



少年町長

県立遊佐高等学校3年 (地区●吹浦)

くり た あおい

栗田 葵

明るく活気あふれる遊佐町にしたいです!!
よろしくお願ひします!

◎少年町長・少年議員の活動内容は、遊佐町HPからご覧になれます!!

<http://www.town.yuza.yamagata.jp/>

○遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局○遊佐町教育委員会教育課社会教育係
〒999-8301 遊佐町遊佐字鶴田52-2 遊佐町生涯学習センター内 TEL.0234-72-2236 FAX.0234-71-1222
(e-mail) youth2013@town.yuza.yamagata.jp

遊佐町 少年議員

町立遊佐中学校3年

(地区●高瀬)



すが わら ゆい
菅原 唯

遊佐町がもっと明るく楽しい町になるように精一杯努力していきたいです。

県立遊佐高等学校1年

(地区●遊佐)



すが わら かず ま
菅原 一真

地元の遊佐町を明るく、活発な町にしていきたいと思っています。

県立遊佐高等学校2年

(地区●吹浦)



すず き しょう い
鈴木 翔偉

若い人だけでなく、すべての年代の人が楽しく暮らせる遊佐町にしたいです。

県立遊佐高等学校2年

(地区●高瀬)



すが わら さ や
菅原 紗耶

遊佐町が今以上に住みやすい地域になるように頑張っていきたいと思っています。

県立遊佐高等学校2年

(地区●高瀬)



すが わら あい
菅原 愛

遊佐町がすこしでも元気になるようにがんばっていきます。

県立遊佐高等学校3年

(地区●酒田)



み うら りょう た
三浦 遼太

昨年、実現できなかった被災地ボランティアを実現したい。

県立遊佐高等学校3年

(地区●藤岡)



さい どう しん や
齋藤 慎也

私は、少年議員になって鳥海ツーデーマーチをもっとより多くの人に知ってもらえるようにしたり、全国の人に遊佐町を知ってもらえるようにがんばります。

県立遊佐高等学校3年

(地区●吹浦)



か どう あつ こ
加藤 敦子

私たちは今年で卒業ですが、遊佐町に居たい、また、戻って来たいと思えるような町づくりをしたいと思います。よろしくお願いします。

県立遊佐高等学校3年

(地区●高瀬)



すが わら
菅原あかね

遊佐町が活気にあふれる町になるように頑張ります。よろしくお願いします。

Youth President's Election 2013 in YUZA

遊佐町少年議会 アンケート

遊佐町のこれからのまちづくりのために、中学生・高校生みなさんの考えをお寄せ下さい！
少年町長・少年議員にあなたの意見を届けましょう！

1-1. あなたは、遊佐町が好きですか？嫌いですか？

好き ・ 嫌い

1-2. それは、どんなところですか？



【過去に出た意見】

- ☺ ハンガリーと交流している
- ☺ 祭りなどの行事が楽しい
- ☺ 何もない
- ☺ いなかだから など

2-1. 遊佐町にどんな町になってほしいですか？



【過去に出た意見】

- ☺ 都会化・発展している町
- ☺ ○○のある町
- ☺ 町民があいさつしあう町 など

少年議会に何をしてほしいですか？

3-1. 遊佐町で行ってほしいイベントはありますか？

【過去に出た意見】

- ☺ 町の活性化
- ☺ 町のPR
- ☺ B級グルメの開発・販売
- ☺ 店を増やしてほしい
- ☺ ○○に街灯を設置してほしい など

3-2. 遊佐町につくってほしいものはありますか？



3-3. いつもの生活・通学で困っていることはありますか？



4-1. 少年町長・少年議会といっしょに参加してみたいこと、
できそうなことはありますか？

【過去に出た意見】

- ☺ ボランティア活動
(被災地支援、清掃など)
- ☺ イベント参加・手伝い
- ☺ 何でも参加したい など



- ☺ ご協力ありがとうございました。
- ☺ 今後の少年議会の活動に、ご協力と応援をお願いいたします。

施策方針 及び 第 11 期少年議会独自政策

1. 施政方針

「文化・人・交流 出合いを大切にする『まちづくり』」

2. 少年議会が目指す遊佐町の将来像 (少年議会アンケート質問 2-1 より)

目指す将来像	具体的内容
都会化・発展している町	・店が多く、若者がたくさんいる町 ・電灯が整備され、事件や事故が少ない安心、安全な町
明るい・笑顔あふれる町	・いじめ、自殺のない町 ・町民同士で助け合う町
活気のあるにぎやかな町	・町民があいさつしあう町 ・他市町、他県、海外と交流を行っている町
自然豊かな美しい町	・自然を大切にしつつ暮らしやすい町 ・観光に力を入れた町
このままの町でいい	・田舎を残した町 ・平和な町

3. 少年議会の独自政策 (少年議会アンケート 質問 3-1～3-3 より)

政策	具体的内容
祭り・イベント	・音楽イベント (ゆぎミュージックフェスティバル) ・ゆぎこいソーラン祭りへの協力
町の PR	・特産品のレシピ化、発信 ・米粉カレーパンの開発、宣伝
交流	・世代間交流 ・外国人の暮らしやすい町づくりを町に要望 ・町外、県外、海外の若者との交流の更なる活性化
ボランティア活動 (被災地支援も含む)	・高齢者訪問ボランティア ・被災地ボランティア、心の交流 ・被災地でのチャリティイベントの開催
街灯 (防犯灯) 設置要望	・通学路への街灯 (防犯灯) 設置を町に要望
安心・安全な町づくり	・災害に対する備えに関して町に要望
自然保護活動	・ゴミのポイ捨て禁止に関する罰則化の要望 (罰金は自然保護活動費へ)
遊佐町内の雇用	・若者が遊佐町内で仕事のしやすい環境作りの要望

4. 活動にあたっての重要事項 (少年議会アンケート 質問 4-1 より)

内容	対策
遊佐町の若者と一緒に活動する	・アンケートから参加できそうなことを探る (ボランティア活動、イベント参加・手伝い、清掃活動)
少年議会活動の PR	・新聞や広報、ホームページを活用する

少年議会 政策 提言



【 施政方針・一般質問・政策提言 】

平成 25 年 9 月 2 日 (月) 第 2 回少年議会

施政方針

少年町長 栗田 葵

「文化・人・交流 出合いを大切にする『まちづくり』」

第 2 回少年議会を開催するにあたり、施政方針を申し上げます。

第 1 回少年議会以降、全員協議会を開催して、「少年議会アンケート」として、若者の意見調査を行った集約結果をもとに、今期の活動目標・活動内容を協議してきました。その結果を踏まえ、第 11 期少年議会では、「文化・人・交流 出合いを大切にする『まちづくり』」をコンセプトとして、活動していきます。

アンケートでは、遊佐町を好きな理由として、「自然が豊か」、「水や空気、食べ物がおいしい」、「人が優しい」、「祭りやイベントが楽しい」という意見が多く見られました。これらは、遊佐町の長所・アピールポイントだと考えます。また、遊佐町にどんな町になってほしいか？という質問では、「都会化・発展している町」や、「明るい・笑顔あふれる町」、「活気のあるにぎやかな町」という意見が沢山ありました。

そこで、第 11 期少年議会では、遊佐町のすばらしい食や伝統芸能などの、「文化」。アンケートでも多かった、「人が優しい町」から、「人」。遊佐町を代表する祭りやイベントに加えて、日頃から行ってほしい、「交流」。この 3 つをキーワードとして、少しでも若者の目指す遊佐町に近づくため、少年議会らしい「まちづくり」を行っていきます。

また、今年度、少年議会は第 11 期を迎えました。歴代の少年町長・少年議員の活動を振り返り、意思を引き継ぎながら、新しい活動も検討していきます。少年議会の活動は、町民の皆さんのご理解やご協力がなくては進めることはできません。皆さんと力を合わせて取り組んでいきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

以上を、今年度少年議会の施策方針とします。

一般質問

少年議員 菅原 唯

私は、少年議員の菅原唯です。

私が今回、町にお願いしたいことは、通学路の街灯の設置についてです。

夏が終わり、日が落ちるのが早くなる時期。この時期は、中学生が部活終りに下校する時間帯には、もう周りが薄暗くなり始めてしまいます。そして、バスを降りる頃には、真っ暗になってしまっています。私の知り合いには、この時期は特に、街灯がないところがとても怖くなると言っていました。また、「少年議会アンケート」を少年議会で集約した結果、街灯を設置してほしいと読む人が42人もいました。

しかし、中高生が街灯を設置してもらいたいと思っているところは、町内にたくさんあります。ですから、時間もお金も、たくさんかかると思います。けれどそれ以上に、街灯を設置することで、プラスになることもたくさんあります。まず、周りがよく見えるようになることです。周りがよく見えるという事は、不審者にもいち早く気づくことができます。また、足元にある障害物につまづき怪我をする可能性が大幅に減るということだと思えます。そして、光があるということは、それだけでも雰囲気明るくしてくれ、町の活性化にも活躍してくれると思います。具体的な場所については、後日、中高生にアンケートを書いてもらい、その結果を集計したものをなるべく早くお届けしたいと思えます。

このことから、できるだけ早く、広範囲に街灯の設置をお願いしたいと思えます。

一般質問

少年議員 菅原 一真

私は、少年議員の菅原一真です。

私が町に求めることは4つあります。私は、議員活動に参加してから、やはり、遊佐町にゴミが多く落ちていることを改めて感じました。1人でも多くの方がマナーを守ってゴミを持ち帰るようになるためには、どんな方法がいいのか考えました。自然に運ばれてくるごみは仕方ない面もありますが、人為的に捨てられたゴミの場合は罰則が必要になると感じました。それは、悪いと承知しているのに、捨てるからです。ゴミを捨てた人を見つけた場合、罰金を取る方法で、受け取ったお金は、自然保護活動に役立てるお金にしたほうが良いと思います。そうすれば、自然豊かないざ街が残されていくと思えます。

2つ目は、子供から老人まで、暮らしやすい街を作るためには、遊佐町で仕事ができる環境にしたり、今ある仕事場が倒産しないように守っていくまちづくりが大切だと思います。

特に遊佐町には福祉施設が多いと聞いています。施設で働く職員は、資格が必要です。例えば、調理師、栄養士、介護士、リハビリ師、看護師、事務職員、社会福祉士、用務員、警備員等の多くの職種の人が働いています。遊佐町の中で、これらの資格が取れる環境があると便利なのではないかと思います。

また、農業が衰退して、田んぼや畑の荒れ地が多く見られます。農業を守っていくためには、地元の若い力も必要ですが、県外の人で農業やりたい人からも、協力してもらえ、環境だと農業が守られると思います。

4つ目は、遊佐町の交流している街にハンガリーや大崎市などがありますが、知っている人と知らない人がいます。もっとその国や町をアピールするためにも、交流会を持って外国人や県外の人に広めていったほうが良いと思います。

以上で私の一般質問を終わります。

一 般 質 問

少年議員 鈴木 翔偉

私は、少年議員の鈴木翔偉です。

私が町にお願いしたいのは、災害に対する対策についてです。詳しく言うと、避難する施設の増設、そしてその施設に行くまでの道の整備です。私がこう考えるきっかけは東日本大震災です。あれから2年たちましたが、決して忘れることの出来ない出来事だと思います。たくさんの方が亡くなってしまいました。遊佐町でこのようなことを少しでも防ぐために避難しやすい道と、安心して避難できる施設を作って欲しいです。避難する道路に案内の看板を設置すれば、道がわからない人や子供たちも避難しやすいと思います。足が不自由な人のために手すりのようなものを設置すれば避難しやすいと思います。

このようなことを実現できれば、遊佐町を安全で暮らしやすい町としてアピールすることができると思います。そして、それを知って遊佐町に住みたいと思ってくれる若い人たちが増えてくれたらうれしいです。

具体的に私が考えているのは、旧吹浦小学校の跡地です。高台に位置していて、岩盤がしっかりしているので、避難場所として最適だと思います。しかし、福祉施設を作る計画があると聞きました。避難場所の施設として一般の方にも開放して、災害時に必要な水や食料を備蓄しておけるように計画の段階で盛り込んでいただければと思います。ぜひよろしくお願いします。

以上で私の要望を終わります。

少年議員 菅原 愛

私は少年議員の菅原愛です。私は要望したいことが2つあります。

1つ目は、外国人が遊佐町に住んで暮らしやすい環境を整備することです。外国人が遊佐町に来て思うことは、言葉や文化の違いから、家に閉じこもって交流の幅が狭くなりがちです。いち早く地域に溶け込むと同時に日本語を学ぶ機会を作り、次のようなシステムを作ることが必要だと思います。① 外国人「なんでも相談室」の設置、生活していて困ったときに何でも相談できる「なんでも相談室」を設置してもらいたいと思います。② 交流ひろばの企画、例えば、外国人の作る自国料理を食べながら、グランドゴルフなどのゲームをしたり、町の住民と楽しくふれあいでできる場を作って欲しいです。

2つ目は、遊佐町の若者が海外の若者と交流する事業を行いたいと思います。今は、国際的にグローバルな時代です。遊佐町の若者が交流を深め、海外の状況を肌で感じることで、日本のさらには遊佐町の良い所、悪い所が見えてくると思います。見聞を深めることにより、今後の生活に活かされるものと思います。

最後に2つの事業を行うことにより、外国人の方が住みよい環境作ることができます。そして、第二の故郷と胸を張って言えるような遊佐町を作りたいと思います。

少年町長 栗田 葵

私は少年町長の栗田葵です。

私が今年実現したい政策は、ゆざミュージックフェスティバルを開催することです。なぜなら、今年度若者を対象にして行ったアンケートの中に「若者が参加できるイベントがほしい」、「ライブやダンスのイベントをしてほしい」という意見が多かったからです。そこで、昨年度も開催した、ゆざミュージックフェスティバルを行い、遊佐の若者を中心にお年寄りまでも活気づけたいと思います。

具体的には山形県出身のアーティスト朝倉さやさんにも参加していただき、ゆざミュージックフェスティバルを盛り上げたいと思います。さらに昨年同様、遊佐で活躍している遊め組、遊佐高ソーラン部、鳥海太鼓、杉沢民謡会の皆さんにも出演依頼をする予定です。

最後になりますが、私は高校3年生で少年町長として活動する最後の年になります。食いの残らないように精いっぱい活動し、このゆざミュージックフェスティバルが遊佐町にとって一大イベントになるための第一歩を踏み出せるよう頑張ります。

少年議員 菅原 紗耶

私は少年議員の菅原紗耶です。

私が少年議員として実現したいことは、広い世代の交流の場を設けることです。「少年議会アンケート」の、私達と一緒に参加してみたいこと出来そうなことの質問には、ボランティア活動や何にでも参加したいという意見がありました。ですから、少年議員の人達だけでなく、みんなで参加するイベントがあつていいと思います。

これを実現するためには、例えば所信表明で言った通り遊佐町にある老人ホームで交流会を行ったら良いと思います。そこでは遊んだり遊佐町の特産品で食事会などをしていと考えています。私は小学生の時に、月光園などに行く行事がありました。最初は緊張していましたが次第に笑顔も増え、仲良くなれたことを覚えています。身近な人以外の方とかかわる機会は、いつまでも続けてよいと思います。

他には、いろんな世代の人と交流できるように、町内でも昨年度行ったゴミ拾いのようなイベントを今年もした方が、交流のバヤ企画が増えると思います。実現するにあたって、ゴミ拾いについての具体的な案はまだありません。しかし、老人ホームのことについては、そこに手紙を出してお願いをしたいです。また、少年議員以外の希望者はポスターを作り、学校や町中に貼って集めたいです。

広い世代がふれあうことは、お互いの理解が深まることだと思います。理解が深まると、自然と町も明るくなり活性化して行くと考えます。

少年議員 齋藤 慎也

私は少年議員の齋藤慎也です。

私が、今年度やりたい政策は、遊佐町の米と遊佐カレーを使った米粉カレーパンを作ることです。いろいろなイベントや道の駅ふらっとなどの店で販売したりして、幅広い人に食べていただいて、遊佐町の特産品にしたいと思います。

米粉カレーパンを作ろうと思った理由は、米粉パンの食感と遊佐カレーの大人の甘さを組み合わせればとてもおいしいと思います。それと、カレーライスよりも持ち運びが楽でいろんな人に手軽に食べてもらえると思ったからです。そのために、生涯学習センターの2階の調理室で米粉カレーパンを作って、少年議員のイベントや小学校と中学校の給食に出して試

食してもらったりして、おいしさなどのアンケートを取りたいです。アンケートを取って問題を改善した後に、材料などの原価を計算して販売につなげたいと思います。

米粉カレーパンが実現できれば、遊佐町には食を通して幅広い交流ができます。来年のツアーマーチで特産品として販売すれば、山形県の人や、全国の人たちに遊佐町の食を知ってもらえます。

これが、今年度の私の政策です。少年議員の人たちと協力してがんばっていきます。

政策提言

少年議会副議長 加藤 敦子

私は少年議員の加藤敦子です。

今回、私が考えた政策は被災地支援に力を入れることです。昨年度の少年議会でも被災地支援の話にはなったのですが、時期が遅くなってしまったため直接被災地に行ってボランティア活動することはできませんでした。今年は早めに行動し、被災地支援を実現したいと思います。

東日本大震災から2年以上がたちました。たくさんの場所で復興が進められていますが、まだまだ被災した方々の心の傷は癒えていないかと思います。第9期少年議会で被災地へ行き力仕事などのボランティア活動を実行してきましたが、今回は心の交流として被災者の皆さんとふれあう機会にしたいと思っています。いまだに家に帰れず仮設住宅で暮らしている人たちを対象に、話を聞いたり、レクレーションなどをしたりして、少しでも寂しい思いをすることなく、楽しい時間を過ごせるように私たちも協力していきたいです。

また、今年度行った少年議会アンケートの集計結果から、少年議員と一緒に参加してみたいことに、少数ですが被災地支援がありました。少年議会だけでなく、希望してくれた方々とも一緒に活動したいと思います。

前に進もうとしている人たちを見守るだけでなく、力になれるよう私たちも頑張りたいです。

政策提言

少年議員 菅原 あかね

私は少年議員の菅原あかねです。

私が今年度やりたいと思っている政策は、特産品のレシピ化です。今までの少年議会の活動の中でたくさんの特産品が開発されてきましたが、正式にレシピ化はされていません。そ

こで、せっかく開発してきた特産品を町民のみなさんにもしていただき、また手軽に作ってもらうためにレシピ化をしたいと思います。実際には、10月からレシピ化のために特産品を作り始めたいと思っています。今回は、たくさんある中でも芋煮コロッケの作る行程や写真をまとめて、広報や小中高のおたよりに掲載させてもらったり、学習センターやスーパーに置いてもらったりして町民のみなさんに知ってもらいたいと持っています。

レシピ化の他には、イベントで試食販売をしたいと思います。たくさんの方が集まる場所で行えば、たくさんの方から芋煮コロッケを食べてもらえるのではないかと思います。具体的にはミュージックフェスティバルやゆざこいソーランのようなイベントを考えています。試食販売ができるように、改良を加えたいです。

この政策が実現すれば、遊佐のみならず山形の特産品である芋煮をPRし、郷土料理を若者にも手軽に食べてもらえるとと思います。これから頑張っていきたいです。

以上で私の政策提言を終わります。

政策提言

少年議会議長 三浦 遼太

私は少年議長の三浦遼太です。

今年度、私が実現したいと思った政策は、二つあります。

一つ目は、ゆざこいソーラン祭りです。今年度、少年議会で中高生向けのアンケートを行いました。そこで、遊佐町を代表する祭りが欲しいという意見がたくさんありました。その中に、ゆざこいソーラン祭りを復活させてほしいという要望がありました。始めは、自分たちで開催したいと思っていました。しかし、運営されている方が、今年度開催するために動き出しました。ですから、私は運営に協力して、ゆざこいソーラン祭りを盛り上げたいと思います。

そこで、提案が二つあります。一つ目は、開催日を2日間にすることです。例えば、1日目は、年齢を決めないで、大人から子供までのチームに参加してもらいます。2日目は、高校生チームとして、たくさんの方々に発表してもらいたいです。2つ目は、全国の高校でソーランをしているチームや高校生だけで作ったチームに、参加してもらうことです。私が、この提案をした理由は自分が3年間、頑張ってきたソーランで遊佐を盛り上げたいと思ったからです。そして、高校最後に祭りであり、大会でもあるゆざこいソーラン祭りで思い出を作りたいからです。

2つ目は、被災地でのソーランのチャリティーコンサートです。実現したいと思った理由は、私が高校1年生の冬に参加した被災地ボランティアでやさしくしてもらったことと、中高生向けのアンケートで、被災地ボランティアに行きたいとあったからです。去年、私

は少年議会として、政策にしたのですが、実現することができませんでした。そこで、今年
は陸前高田の小学校をお借りして、小学生とご年配の方々を対象にした、イベントを開催し
たいです。私が、考えているイベント内容は、ソーランのコンサートから始めて、ソーラン
を教えて、一緒に踊ります。そして、体をつかったゲームを行います。最後に、山形県の秋
の旬の料理の芋煮と一緒に食べて、イベントを終了します。このような、イベントを実現し
たいと思います。

私は、自分の政策を成功させるのはもちろんですが、みんなの政策も良いものが出るよ
うに頑張ります。今年度が、素晴らしい1年になるように少年町長・少年議員が一丸となっ
て頑張りますので、応援よろしくをお願いします。

少年議会

政策 提言

2

【 第 11 期活動報告・最終提言・次期少年議会に望むこと 】

平成 26 年 1 月 22 日（水） 第 3 回少年議会

全体総括

少年町長 栗田 葵

私たち第 11 期少年議会の活動は、7 月 3 日の第 1 回少年議会から始まりました。今期の少年議会活動を行うにあたり、若者の意見をアンケートという形で調査しました。アンケートの結果、遊佐町を好きな若者は、87%もいることが分かりました。遊佐町の好きなところでは、「自然が豊か」「人が優しい」「祭りやイベントが楽しい」といった意見が多くありました。

そこで、今年コンセプトを「文化・人・交流 出会いを大切にする『まちづくり』」とし、人と人のつながりや出会いを大切にできるよう、活動してきました。この目標の実現に向け、様々な政策を実現しています。ふれあいボランティアでは、小中高生とグループホームのお年寄りが世代間交流を行いました。クリスマス交流会 in 陸前高田では、少年議員・遊佐高校のボランティアと陸前高田市の小学生と交流を行いました。また、通学路に関するアンケート調査や特産品の開発や発信に取り組みました。地域の方々からご理解、ご協力に支えられ多くの政策を実行に移しましたが、完成することができなかった政策もありますので、その部分については、可能な限り、次期少年議会から引き継いでほしいと思っています。

しかし、その前にもう少しで実現が可能な政策もあります。2 月 23 日に予定しているユザミュージックフェスティバルです。少年議会の任期は、12 月末となっていますが、2 月末まで引き続き第 11 期少年議会として活動を続けさせていただきたいと考えています。よろしくをお願いします。

議会報告

少年町長 栗田 葵

私は、少年町長の栗田葵です。私が今年主に取り組んだ政策は、ユザミュージックフェスティバルです。きっかけは私が音楽の部活に入っていたというのもあり、音楽の力で遊佐を元気にしたかったからです。

まず考えたのは特別ゲストをお呼びしてお客さんをあつめることです。何回もかきなおした手紙を送封したところ、なんとさくらんぼテレビのイメージソングを担当したワカバさんが特別ゲストに決定しました。連絡が来た時はとても嬉しくて、さらにこのイベントを成功させたいという思いが強くなりました。これからの目標は、生涯学習センター大ホールにどのようにして、目標人数 350 人ものお客さんを呼ぶかということになります。具体的な案としてはポスターをたくさん貼る、友達をたくさんさそって人から人へとこのイベントを知ってもらってたくさん来ていただくという方法です。ぜひ、町役場の皆さんも、ご来賓のみなさんも、生涯学習センター大ホールまで足をお運びくださいますようお願い申し上げます。

次に今年 1 年の活動をふりかえっての感想です。今年一番感じたことは、同じ議員の仲間にささえられてきた一年だったということです。

特に一番それを感じたのは、被災地ボランティアです。今回の被災地ボランティアでは遊佐高校のボランティアのみなさんにも協力していただきました。やはり人が多いとまとめるのも大変でした。でもその時に議員のみんなが手分けをしてそれぞれの活動に専念してくれ、自分から進んで仕事を行ってくれたときは本当に助かりました。ありがとうございました。

そして少年議員のサポートとして土門直嗣くんも一生懸命取り組んでくれ、教育委員会の愛さんや本間さんにも大変お世話になりました。ありがとうございました。少年議員のみなさん、サポートのみなさん、最後のイベント、遊佐ミュージックフェスティバルを成功させるためにも最後までおつきあい下さい。よろしく申し上げます。

来年の少年議員には、さらに活動をもりあげて遊佐の活性化につとめてほしいです。そして、今年卒業する私たちや卒業していったセンパイたちがいつか遊佐に戻ってきたときにびっくりするくらい、少年議員旋風をまきおこしてほしいです！

議 会 報 告

少年議員 菅原 唯

私は、少年議員の菅原唯です。

私の第 2 回少年議会の一般要望は、通学路への街灯の設置でした。その時は、“どこに設置してほしいか”が決まっておらず、ただ“遊佐町の暗いところを明るくしてほしい”というあいまいな考えしか持っていませんでした。ですので、遊佐町の小・中・高校生を対象として、アンケートを取ることにしました。

初めは“どこに街灯を設置して欲しいか”という項目だけを取る気でした。しかし、少年議員での話し合いの中で“通学路に関しての他の要望も聞いたらどうか”という意見がで、「それならば、この機会に遊佐の子供たちの通学路への意見を、聞いてみよう」となり、“他に「こうしてほしい」という事はないか」という項目をつけ足す事になりました。また、“小

学生には、場所を文章で伝えることは難しいのではないか”という意見もでたので、小学生は各学区の地図を印刷し、その上に丸で囲んでもらうという方法にしました。このような工夫は、自分一人では、考えつく事ができなかつたので、少年議員の方々に言ってもらえてとても助かりました。

一番大変だったのが、アンケート用紙の製作でした。中・高校生用は、パソコンを使ってすぐに作ることができたのですが、小学生用がなかなかでき上がりませんでした。“どのくらいの大きさにしたら良いのか”などが決まらず、役場の方々に手伝ってもらい少しずつ決めていくことができました。最終的に紙の大きさが A3 に決まったので、一枚ずつ半分に折ったり、マーカーペンで一枚一枚書き込んでいったりなど、地味な仕事もたくさんありましたが、一番楽しかったのも、このアンケート用紙の製作でした。アンケート用紙の製作は、夏休み中に行ったのですが、役場の方々が手伝って下さり、一人ではつまらない仕事も、とても楽しくなりました。これから私達がとりまとめたアンケート結果で、遊佐町に住んでいる子供たちが、より住みやすいと思える町になってほしいと思っています。

少年議会に入るのは、今年が初めてで、何をしたら良いかも分からず、することなすこと全てが新鮮でした。これからも、この少年議員の楽しい雰囲気を残していってほしいと思います。

議 会 報 告

少年議員 菅原 一真

私は少年議員の菅原一真です。

私は、遊佐町を皆さんと一緒に住みやすい町にしていこうと活動を始めました。少年議員の活動を通して、皆さんの意見を聞いているうちに、一つ一つの提言を実行するには、たくさんに準備期間が必要であり、多くの人たちの協力も必要であることが分かりました。

今回、少年議会の活動では、花火大会のゴミ拾い推進活動、ソーデーマーチ、鹿の角切りなどの町のイベントや、遊佐町少年議会アンケート調査、特産品のレシピ化・発信と米粉カレーパンの開発、そして去年の 12 月に行った陸前高田市の被災地ボランティアで、遊佐高校との連携によるチャリティイベント等に参加することができました。

その中で、特に米粉カレーパンの開発と、陸前高田市でのチャリティイベントが心に残りました。私が提案した政策ではなかったのですが、米粉カレーパン作りでは、トッピングに何の具材をのせるか考えたり、カレーの辛さを出そうと試行錯誤して作ってきました。まだ完成していませんが、少年議員の皆の努力が、実現できればいいなと思いました。

来年度の少年議会に提案したいことは、被災地でのチャリティイベントを今後も継続して

いって欲しいです。理由は、被災地で生活している人と交流できる大切な活動だと思ったからです。

今後も少年議員の活動が長く続いて、遊佐町の発展に役立っていけるように協力していければいいな、と思います。

議 会 報 告

少年議員 鈴木 翔偉

私は少年議員の鈴木翔偉です。

私は、今期の少年議員として活動させてもらって活動する前と後で少年議員のイメージが変わりました。活動する前は、全然どんな人がどんな内容の活動をしているのか想像もつきませんでした。しかし、活動を通して町の行事に積極的に参加したり、政策で料理したりと、いい意味で予想を裏切られました。

私は初めて会う人と関わるのが苦手なので正直不安でした。でも、先輩たちが毎回たくさん話しかけてくれ、一緒に行動することで早く馴染めたと思います。

私が一番思い出に残っている政策は、被災地ボランティアでした。長時間の移動は大変でしたが、少年議員以外で参加してくれた人達も一緒に一緒にソーランを元気に踊ったり、ハンドベルでジングルベルを演奏して子ども達と楽しい時間を過ごしました。

一緒に食べた芋煮もおいしくて食べている時に何回もおかわりする子ども達の姿もありました。子供達から遊佐町ってどこらへんの？とか好きな人とかいるの？などみんな無邪気に質問してくれたり、芋煮おいしい！と言ってくれたのでとてもうれしかったし終始笑いが絶えませんでした。最後に、米ちゃんとライちゃんが登場してお菓子などをプレゼントしました。ここでも、子供達が喜んでくれてボランティアは大成功でした。

その反面、街がまだあまり復興が進んでいないなと思いました。完全に復興するまで、まだまだ時間がかかると思うけどいつか復興が進んで子ども達の笑顔が今よりもっと増えたらいいなと思いました。

最初は不安な私でしたが、議員のみんなと一緒に活動してきて本当に少年議員に参加してよかったと思っています。この経験は絶対、他のところにも生かせると思います。何よりも遊佐町に少しでも貢献できてよかったです。

来期以降の少年議員のみんなには頑張ってもらいたいと思います。また私が少年議員になったら一生懸命がんばりたいと思います。

少年議員 菅原 紗耶

私は少年議員の菅原紗耶です。

私は少年議員の活動で、普通に学校生活を送っていたら、学べなかったことを学びました。例えば、いろんな人に助けてもらいながらも、自分達で企画を成功させたときの嬉しさです。それは、一から実際に行動しないと得ることができません。又、私には先輩と後輩と協力してたくさんの政策を成し遂げていくのは、とても新鮮でした。

私は政策提言で世代間の交流を盛んにしていきたいと、言いました。そのため、自分の政策提言を実現するために、班の人達とアイデアを出し合いながら、活動してきました。

実際にした活動としては、募集したボランティアスタッフの皆さんと、グループホーム燦燦に訪問させてもらいました。そこで、紙芝居を使った劇や、折り紙、風船遊びをしました。実際に行ってみると、最初は燦燦の方たちとうまく話すことができませんでした。しかし、少しずつ打ち解けることができたので良かったです。

実現するまでの過程では、自分の考え通りにはいかなことがたくさんありました。例えば、ボランティア先を決めるためにお願いの電話をする時です。その時は、とても緊張すると分かっていたため、一応最初から話す内容を書いたメモを準備していました。しかし、予想していなかった相手の質問にうまく答えることができず、自分でも何を言っているのか分からない状態になってしまいました。他にも日程や進行、ゲームのルールなど予想を上回る大変なことがたくさんありました。

実現できなかった活動もありました。遊佐町をきれいにしたいと思っていたのですが、時間もなく達成できませんでした。それが、心残りでした。

少年議員ではいろんな方々に迷惑をかけてしまい、反省することがたくさんあります。しかし、イベントを企画するときの大変さや相手との意思疎通がいかに大事かを考えることができました。何もない状態から、形があるモノにするのは大変でしたが、楽しかったです。

来年の少年議員には、今年築きあげた活動を引き継いで、ほしいと思います。そして、新たな政策を考えて盛り上げてほしいです。

少年議員 菅原 愛

私は少年議員の菅原 愛です。

私は少年議会をしてみても感じたことは、政策提言した事業の内容を企画、立案から実行ま

で限られたスケジュールの中で消化するのは、とても大変なことだということです。

議員の皆さんと協力して知恵を出し合い、普段、参加したことのないイベントや町民の皆さんとの交流など、遊佐町のための活動に参加することができました。

私自身とても勉強になり、協力し合う大切さを学びました。反省点としては、自分の意見や提案をもっと積極的に発言したら良かったと思っています。

私が力を入れた活動は、「世代間交流」と「特産品のレシピ化」です。世代間交流事業の老人ホーム訪問では、紙芝居や折り紙などの交流をしました。おばあちゃんとおじいちゃんに接する場合、優しく褒めてあげること、受け答えは適当にしないで、親身になって言いたいことを感じて対応することが大切だと施設職員の方から伺いました。益々、高齢化が想定され、切実な問題だと思いました。特産品のレシピ化では芋煮コロッケのレシピづくりを行いました。味付けに少々、苦戦しましたが皆さんから喜んでもらえるレシピが完成しました。遊佐町の特産品になるように期待しています。

私の提案した「何でも相談窓口」を設置し外国人の暮らし易い環境づくりと、海外の若者との交流事業については、遊佐町の若者が色々な国々の若者と交流し、海外の文化の違いを肌で感じるにより、遊佐町を更に発展させることができると思います。

是非、実現できるようにお願いします。

来年度の少年議員に提案したいことは皆さんと協力し合うことが大切だということです。あとは積極的に発言して行って欲しいと思います。

議 会 報 告

少年議員 齋藤 慎也

私は少年議会の齋藤慎也です。

私は、米粉カレーパンの開発を行いました。少年議員のメンバーと遊佐ブランド推進協議会の太田紀衣さんをお招きして、全員協議会で話し合いました。はじめは、どのような米粉カレーパンにするかや、カレーの具材は何を入れるか、現在売られているカレーパンとどのように違いを持たせるかなどを話し合いました。

その後、何度も試作を繰り返した結果、パンは揚げずに焼き、形は遊佐の特産品であるお米の稲穂をイメージした形にしました。中身のカレーは、「鳥海山の恵みをいただくカレー」(通称：遊佐カレー)とシンプルな具材を使用しました。トッピングとして、遊佐の五大自然の中から山・川・砂丘・海をイメージした食材を使用しました。山はタケノコ、川は鮭、砂丘はごぼう、海はイカを使用しました。残る五大自然の平野は米粉を使い、パンに練りこみました。その結果、食を通して、遊佐町の自然を再認識できるパンを開発することができました。

12月1日に開催されたフードフェスタでは、たくさんの人に食べていただけて良かったと思います。その時に、おいしいと言ってもらえたり、遊佐の五大自然を使っては、などのアドバイスをもらいました。また、アンケートの結果から、手ごたえを感じ、自信を持つことができました。とてもいい経験ができたと思います。

その後、全員協議会で原価計算をし、遊佐町にあるパン屋さんに生産、販売のお願いに伺いました。まだ、どのようになるかはわかりませんが、BAKU 麦さんからは、今後少年議会と協力して、ゴールデンウィークなどの連休で売ることが可能かもしれないとおっしゃって下さいました。他のパン屋でも、売ることができるよう検討してくれると回答いただきました。今後の少年議会で引き継いでいってもらえたら嬉しいと思います。

少年議会では、特産品開発だけでなく、被災地ボランティア主催などの普段では絶対にできないようなことをさせていただき、ありがとうございました。

議 会 報 告

少年議会副議長 加藤 敦子

こんばんは。少年議員の加藤敦子です。

私は高校3年生で最後の高校生活を送っていますが、卒業後も遊佐町に居たい、また戻って来たいと思えるような町づくりを目標に少年議会に立候補しました。活動内容は西浜花火大会でのゴミの持ち帰りの呼びかけや、ソーデーマーチではエールなどを行い「自然が豊かで笑顔あふれる遊佐町」

を若者や他県の方々にPRできたと思います。他にもたくさんのイベントに取り組み、わかものによる町づくりへの参加を呼びかけてきました。「遊佐町の役に立ちたい」「にぎやかな町にしたい」と積極的に活動してくれている方々を中心に私たち若者も遊佐町に貢献していきたいと思います。

また、第2回少年議会で政策提言した被災地での心の交流ボランティアも実行することができました。12月22日、陸前高田市ある米崎小学校体育館を開催地とし、現地の小学5、6年生の皆さんと保護者の皆さんを対象に少年議員とスタッフを含め34名のボランティアの方々と交流会を行ってきました。具体的な交流内容は米崎小学校の重倉太鼓さんによる演奏やボランティアのソーラン班によるソーラン演舞があり、昼食には調理班が作った芋煮をグループに分かれて食べ、その後、ボランティアによるソーラン教室とハンドベル教室を行いました。当日は小学生に喜んでもらえるか不安な所もありましたが、重倉太鼓の皆さんの演奏もとてもすばらしくて、芋煮も美味しいと言っておかわりしてくれる子どもたちがたくさんいて嬉しかったです、グループで芋煮を食べているときも、ソーラン教室のときも、皆元気いっぱいの笑顔で逆に私たちが元気をもらったような気がしました。次期少年議会でも被

災地ボランティアを引き継いでもらいたいです。

3年間を通して少年議会で学んだことはたくさんありますが、これからの生活でも活かしていけるよう頑張っていきたいです。

議 会 報 告

少年議員 菅原 あかね

私は少年議員の菅原あかねです。

私は今回、特産品のレシピ化・発信を政策として行ってきました。数ある特産品の中でも芋煮コロッケに絞り、レシピ化と販売を目指し芋煮コロッケ作りを何度か行いました。

私が第9期少年議会に参加し、特産品づくりの時に教えていただいた作り方を参考にし、もっとおいしく、簡単に作れるように研究を重ねました。レシピとして残せるようにひとつひとつの調味料を量り、いろいろなパターンを作り、試食して議員の中でどの味付けがいいか話し合ったりしました。その後、材料や作り方を文章や写真でまとめた芋煮コロッケのレシピを完成させることができました。

遊佐町フードフェスタ 2013 に芋煮コロッケを出品した際には、たくさんの方に試食していただきました。アンケートにも協力していただき、大きさや味付けがどうか聞きました。ほとんどの方が大きさも味付けもちょうどいいと言ってくださり、何度も研究を重ねて良かったなと思いました。中には芋煮コロッケが好きで毎年楽しみにしている方もいらっしゃいました。作成したレシピの配布を行い、女性や子ども連れの方に人気がありました。また、道の駅ふらっとさんや、白糸の滝ドライブインさんから販売を協力したいと声をかけてくださいました。遊佐町民みなさんのみならず、たくさんの方に食べていただくためにも、次期少年議会で協力をお願いし、このチャンスを販売への一步として繋げて欲しいと思います。

ユザミュージックフェスティバルでは、カレーパンとともに芋煮コロッケの販売も行う予定です。100個完売を目指し、おととしのミュージックフェスティバルで販売したものよりもパワーアップした芋煮コロッケを食べてもらえるように頑張りたいと思います。

私は、第9期、第11期と少年議会に参加してきましたが、それ以外の勉強、部活、アルバイト、そして就職活動との両立はとても難しく、大変でした。初めて参加したころの私は人に自分の意見を発言することが苦手でしたが、少年議会で経験を積んだことで人に意見を言うことが平気になりました。少年議会に参加していなかったら、自分の気持ちを就職活動の面接の際に伝えられず、うまくいかなかったと思います。大変だった分、少年議会に参加したことは自分にとって大きな成長のきっかけになりました。今期では、特産品づくりを政策としてやってきましたが、私の中で一番大きかったのは、フードフェスタに参加したことです。食べた感想を聞いて、参考にしして改良を重ねることでよりよいものができるかと改めて

感じました。

私は、調理系の会社に就職します。就職後もこの経験を生かし、新しい料理を考えたいと思います。

議 会 報 告

少年議会議長 三浦 遼太

私は、少年議会の三浦遼太です。

私は、昨年度から政策にしていた被災地でのソーラン交流会を今年も自分の政策にしました。一年間、計画を立てる時間があったため、少年議員全員の考えを入れ、素晴らしいイベントの計画を作りました。昨年度、日程が合わずに開催することが出来なかった思いを忘れずに開催しました。平成25年度の12月22日の朝5時に被災地に向け、出発しました。陸前高田の小学校には、10時過ぎに到着しました。元地に着くと、すぐに準備に入り、芋煮班と会場準備班に別れました。芋煮班は近くの公民館で芋煮作りに取り組み、会場準備班は会場準備の後に発表練習を行いました。開催時刻に近づくにつれて、子供達が体育館に集って来ました。準備には、思ったより時間がかかり、開催時刻が遅れました。ですが、台本通りにソーラン班の演踊からクリスマス交流会が始まりました。ソーランは、政策として被災地の子どもたちに元気をあげたいと思っていたので、発表することが出来て嬉しかったです。

私たちが、クリスマス交流会を行うというのに合わせて、米崎小学校の重倉太鼓の子どもたちは発表の練習をしてくれていました。私たちのソーランの発表のお返しとして、太鼓の演奏を見せて貰いました。お互いに元気を分け合う発表になりました。その後、芋煮を食べながらの交流を行いました。子どもたちの笑顔や人柄を見ることが出来たし、良い交流になりました。

私は、交流会を開催する際で、一番大切にしたいことはソーランをメインにすることでした。そのために、イベントの最後にソーラン教室とクリスマスを代表して、ハンドベル教室を行いました。どちらの班も、笑顔があふれる教室になりました。教室の最後には、お互いに発表を行い、練習通りの良い発表になりました。最後には、記念として写真を撮りました。いつまでも思い出に残るイベントになったと思います。私は、二年間の議員活動を通して、学ぶことが多かったです。そして、沢山の思い出を作り、沢山の人々に出会うことが出来ました。今回のイベントだけでなく、昨年度の「ゴミスポ」を成功することが出来たのも、少年町長・議員・そして、町民のみなさんの協力があったからだと思います。来期の少年議会が、遊佐町をもっと良い町にしてくれることを私は、願います。時田町長・町役場のみなさん、二年間、影ながらの応援、ありがとうございました。

第11期少年議会 主な活動内容

ふれあいボランティア - 世代間交流

12月7日（土）に世代間交流として、グループホーム燦燦で「ふれあいボランティア」を開催しました。小学生2名、中学生6名と、少年議員6名が燦燦を訪問し、紙芝居を使った劇や風船バレー、折り紙などを一緒に行いました。

少年議員だけで役割分担するのではなく、ボランティアに参加してくれた小中学生にも、劇の役や読み手などに入ってもらい一緒に作り上げることができました。燦燦の皆さんにも大変喜んでいただき、8歳から100歳まで楽しめる交流会になりました。



特産品開発

今期少年議会では、特産品開発として、「芋煮コロッケのレシピ化」と「ゆざカレーを使った米粉カレーパンの開発」を行いました。

芋煮コロッケは、今までのレシピに改良を加えました。味付け・大きさなどを比較し、より美味しく、より食べやすいものにすることができました。また、レシピを載せたリーフレットを作成しました。これを町内外に発信していく予定となります。

米粉カレーパンは、今年度一から開発を行いました。遊佐ブランド推進協議会の協力を得て、遊佐の五大自然をモチーフにしたカレーパンを考えました。今後は、町内のパン屋での製作と販売が目標となります。



クリスマス交流会 in 陸前高田

12月22日(日)には、陸前高田市にある米崎小学校で「クリスマス交流会」を開催しました。今年度政策の「被災地でのソーランチャリティ」と「心の交流」を元に、少年議会議が主催し、遊佐高校のボランティア約20名と協力して行いました。

ボランティアによるソーランの演舞、米崎小の5・6年生の重倉太鼓の演奏、芋煮会をしました。その後、ソーラン教室とハンドベル教室に別れて、教えながら小学生と交流しました。各教室の発表会を行い、最後に米～ちゃんが登場して子どもたちにプレゼントを渡しました。

準備がとても大変なイベントでしたが、少年町長・少年議員が協力し、素晴らしいイベントを作り上げることができました。



たくさんの町内イベントに参加しました!

7月27日には「遊佐町町民花火大会」で、ゴミの持ち帰りを呼びかけました。8月14日は、「町民盆踊り大会」に参加。9月7、8日は「鳥海ツーデーマーチ」でウォーカーにエールを送りました。また、10月13日には

「神鹿角切祭」で角切役や、抽選会の司会を行いました。今期もたくさんの町内イベントに参加し、遊佐町の若者の力を町内外の皆さんにPRできました。



平成 25 年度遊佐町少年町長・少年議員公選事業 プロジェクト委員名簿

No.	所 属	職 名	氏 名
1	議会事務局	次長兼議事係長	佐藤 光弥
2	総務課（選挙管理委員会）	総務係主事	佐藤 利信
3	企画課	課長補佐兼企画係長	高橋 務
4		企画係主任	佐藤 裕也
5	教育課	課長	東海林 和夫
6		学校指導係長兼指導主事	後藤 司
7		総務学事係主事	佐藤 明子
8		文化係主事補	伊藤 塁
9		社会教育指導員	佐藤 正子
10		課長補佐兼社会教育係長	高橋 晃弘（事務局）
11		社会教育係主任	本間 裕行（事務局）
12		社会教育係主事	高橋 愛（事務局）

- 遊佐町少年町長・少年議員公選事業の実施のため、遊佐町役場内にそのサポートのためのプロジェクトチームを立ち上げる。
- プロジェクトチームは、実際の事業を執行する際、直接若者達の支援を行う。

※ 担当課 … 教育課・議会事務局・選挙管理委員会・総務課・企画課



明日の遊佐町に
ぼくたち、わたしたちは
提案します。

